

## 北海道選抜メンバーで初の全国の舞台を経験

「全国大会に出場する選手の中には、判断力に優れ、うまいと思う選手がたくさんいて、速い球を投げる投手もいました。試合ではちゃんと球に合わせて、ヒットを打つことができてうれしかったです」と大会を振り返る木村さん。

中学校で野球部の顧問をしていた父の影響を受け、小学校入学と同時に、少年野球チーム『幌別ベアーズ』に加入した木村さんは、4年生からレギュラーを獲得。長打力や勝負強さを発揮し、登別市少年軟式野球連盟の打撃賞を受賞するなど、『不動の4番打者』としてチームを牽引してきました。

6年生になった今、チームの監



▲打席に立つときは常にフルスイングを意識している木村さん

督や家族からの勧めもあり、北海道選抜のメンバーとして全国大会に出場するための試験を受け、選抜メンバーに選ばれた木村さん。「全国の高いレベルを経験することができて良かったです。試合に出場し、悔いが残らないくらい全力でプレーすることができました」と笑顔で話してくれました。

## 新たなステージへ

全国のレベルを肌で感じ、毎日のように体幹トレーニングやこれまで共に汗を流したチームメイトと練習を続けるなど、野球と真剣に向き合う木村さんは、「これまで先輩たちに指導してもらったように、チームへの恩返しをしたい」と気持ちを新たにします。中学・高校と野球を続け、将来はプロ野球選手になるという夢をかなえるため、木村さんは、中学生から各チームのエース級のライバルたちと共に、同じ硬式野球チームへ入団し、力を競い合っていくことを決断しました。

今後は「新しいチームでレギュラーを勝ち取り、打席ではホームランが打てるような選手になりたいです」と目標に向かって、ひたむきに練習に励みます。



KIRARI

きむら かんた  
**木村 幹大**さん(千歳町)

平成29年11月、岩見沢市で行われた『北海道チャンピオンシップ選抜三大会合同セレクション』において、道内各地から集まった約60人の中から16人の北海道選抜メンバーに選ばれ、同年12月23日・24日に、佐賀県唐津市で開催された『第15回今泉杯西日本友好学童軟式野球大会』に一塁手として出場。北海道選抜チームは、全国ベスト4に輝きました。

今号では、全国大会の感想や今後の野球への思いについて、木村さんに話を伺いました。

## 常に全力プレーが、自分の持ち味



平成17年、登別市生まれ。12歳。

小学1年生から野球を始め、少年野球チーム『幌別ベアーズ』に所属。父もコーチを務めるなど、二人三脚で野球に取り組む。身長170<sup>センチ</sup>の恵まれた体格と持ち前の全力プレーを武器に、北海道選抜メンバーに選ばれる。左投左打。